

～入寮生の保護者が語る大阪学生会館の魅力～

「大阪と島根を隣り合わせで感じられる良さがある」

入寮生の父

娘が大阪の大学に進学することに。

娘の希望に満ちた表情とは裏腹に、これまで島根県でのびのびと育った娘が、大都会大阪でも同様に元気に安全に生活できるのか、ただただ心配でした。

寮から大学までは電車を乗り継いで1時間半程かかりますが、我が家の経済事情などを考えてか、娘は迷わず入寮を決め、現在3年目の学生生活を過ごしています。

毎週土曜日の夜には、娘と家族でライン電話をします。娘は大学や寮生活などの話を笑顔で聞かせてくれます。島根出身の館長さんがご夫婦で常駐され安心です。また、栄養バランスを考えた食事があったり、様々な設備が整っていたりします。

学生による自治的な運営の中で、島根県出身の仲間と共に生活する経験は、社会に出て間違いなく役立つことでしょう。実は私も30年程前、前身の男子寮で大学生活を過ごしました。

娘の入寮時に見た、寮から一望できる大阪の街や、目の前の太陽の塔などの景色はあの頃と何ら変わらず、様々な思い出が蘇り、とも言えない感情がこみ上げてきました。

「世界の中心で愛を叫ぶ」ならぬ「大阪の中心で島根を叫ぶ」。

そこには、子も親も日々大阪と島根を隣り合わせで感じられる良さがあります。娘の存在が近くに感じられ、安心して応援し続けることができます。

～入寮生の保護者が語る大阪学生会館の魅力～

「決めて良かった！」

入寮生の母

大阪学生会館に入寮できたことを、親子共々とても感謝しています。

経済的に不安があったため、高校入学時から息子には島根県内での進学を進めていました。

本人も県内進学で希望を出していたのですが、高校2年生の時に担任の先生から関西の大学を勧められ、その際に大阪学生会館も紹介していただきました。

学生会館に入ることを条件に、関西の大学へ進学をしても良いことを息子に伝えたところ、目を輝かせて関西の大学について調べ始め、「自分のやりたい勉強ができる！」と受験への意欲も増しました。

その姿を見て、今まで進路決定にあたり、親に気を遣っていたんだなあ…と反省をしました。大阪学生会館のおかげで、息子はいま、当に進みたかった道を歩くことができている。ここがなければ、息子に夢を我慢させてしまうところでした。

現在の息子は、大学生活はもちろんですが、とにかく学生会館での生活を楽しんでいます。ずっと勉強をがんばってきて、友達と遊ぶ時間もなかったのも、今はなによりも夜の談話室での友だちとの語らいが最高なのだそうです。

また、自室は個室でプライベートな空間が確保されており、入浴は毎日が温泉に通っているようで、心も体もリラックスできているそうです。食事も栄養士さんが考えた献立を調理しておられるとのことで、とても美味しいと言っています。

私が学生会館へ寄った時に、調理担当の方が、少食気味な息子の食事量について心配をして声をかけてくださり、日々こうやって気にかけてもらえていることに、親として本当に安心しました。また、育英会から毎月送られてくる「学生会館だより」は、子どもたちや館の様子がよく分かり、家族で毎号を楽しみにしています。

これから関西方面に進学をする方たちにも、学生会館のこのような良さが伝わっていくと良いなあと思っています。

「島根の人たちって本当に良いねえ」と、入寮して改めて話している息子です。いつか育英会に恩返しができるよう、いまは大阪学生会館を基点に、夢に向かって頑張りたいと思います。